

だいせんの偉人先人たち

さ か き だ せ い べ え 榊 田 清 兵 衛



【 分 類 】 せいじか
政治家

【 生没年 】 1864年 ～ 1929年
(げんじ がん 元治元年) (昭和4年)

大仙市（旧大曲市）出身。明治7年に家名の清兵衛を継ぐ。青年時代には、よりよい町づくりのために「大曲談話会」を設立。また、産米改良のために「仙北改良社」を立ち上げ、農地整理や乾田馬耕なども奨励した。さらに、県会・郡会議員時代（明治23年～36年）には、明治28年の大洪水や同29年の六郷地震の復旧、県立図書館創設のための意見書提出などに尽力した。明治41年には衆議院議員選挙に当選し、国会議員として東北地方の発展のために活躍。特に田沢湖線の敷設・開通のために「盛曲線建設同盟会」を結成し熱心に活動が続けた。この動きは、その後何度となく中止になったが、同郷の「根本龍太郎代議士」をはじめ地元の熱意によって工事が再開。昭和41年に全線が開通し田沢湖線と名付けられた。

出典 『郷土の大政治家・田沢湖線の恩人 榊田清兵衛 翁』2012・大曲史談会リーフレット／編